

りんごの森

2024

4

No.501



特集

ニュージーランドにおける リンゴ生産・輸出動向

表紙の写真：令和6年3月12日 相馬小りんご学習 作文・壁新聞コンクール表彰式



JA.SOUMAMURA

特 集

ニュージーランドにおける リンゴ生産・輸出動向



周辺地域には羊が放牧されている風景が広がる

日本から南に約9,000 km離れたニュージーランド(NZ)は、北島と南島の2つの主要な島から構成され、気候はほぼ全土が西岸海洋性気候に含まれており、夏は涼しく、冬は強烈な寒波もない。1年を通して温暖な気候であるが、両島とも3,000 m級の高山が連なる。気候的に日本と似ており、農業が盛んで酪農や畜産が主で、果樹や青果物の栽培にも力を注いでいる。

●ニュージーランド

面積：268,000mi² (日本の約7割)

人口：約500万人

・首都 ウェリントン (22万人)

・最大都市 オークランド (147万人)

※全体的に温暖な気候に恵まれており、北半球とは季節が逆となるニュージーランド。視察先のネーピア市は寒暖差があり、訪れた3月は秋で「ふじ」の収穫が目前に迫る時期だった。



肥沃な土壌、豊富な水資源に恵まれたりんご栽培の最適地

NZにおけるリンゴ栽培面積は、10,820haで青森県の約50%となっている（R5青森県りんご栽培面積20,366ha・農林水産統計）。一方、年間生産量は本県の415,700tに対して408,500tとなっており、75%が輸出向けだ。また、りんご生産者は日本が約4,800人に対してNZは256人であることから驚きだ（法人等を含む）。現地を視察すると、見渡す限りに高密度植わいりんご園が広がり、量産型であることは一目瞭然であった。尚、世界的に見ても最小の生産者数として挙げられるものの、生産性・革新性・収益性の観点から、しばしば世界ナンバーワンの生産者として評価を受けているとのことだ。

日本よりもはるかに少ない農業国として、リンゴ産業の生き残り戦略は、北半球のオフシーズンに収穫期を迎える利点を最大の武器とした輸出であり、輸出国は主に中国・ベトナム・ヨーロッパが挙げられ、日本にも輸出している（2021現在）。南半球のリンゴ生産国との輸出競争に加え、鮮度保持剤1MCP（スマートフレック



SSは牽引式の2,000ℓ仕様



着色優良系統品種が多かった



園地や選果施設を案内してくれたグレックさん（Freshco社）

Visited New



高密度植わい化栽培が主流へ

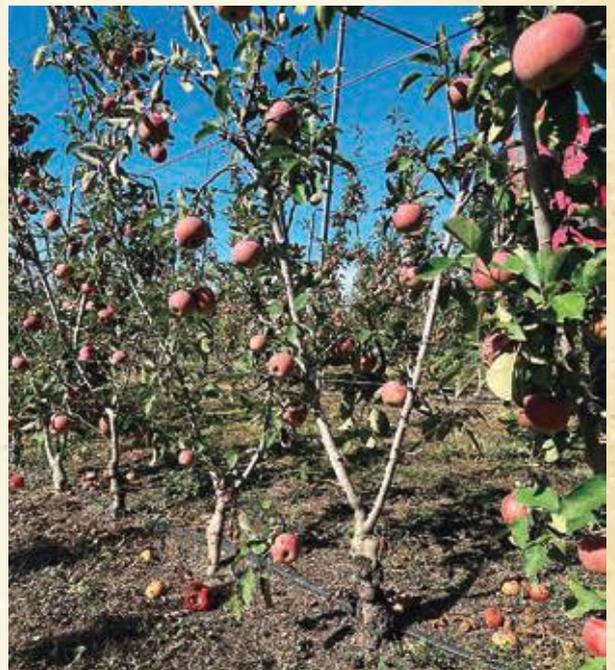




ソニアは甘味が強く、日本人が好むような美味しいリンゴだった。



鈴成りのリンゴ（40年生わい化樹）



●定植3年目の着色優良系統ふじ

- ・ Y字型の2本主枝が特徴的
- ・ 樹間1m
- ・ 灌水設備あり
- ・ 反収5 t

シユにより長期貯蔵が可能となつた北半球産リンゴとの販売競争は激化している。

Freshco 社

りんご生産体制

オークランドに本社を置く Freshco社は、300 ha超のリンゴ園地と冷蔵施設を有する選果こん包施設を完備している。取り扱う主力品種は、ソニア・チッキー・ブリーズ等があり、本県の主力品種である「ふじ」も挙げられた。

園地は主にわい化栽培であり、

近年は改植・新植を進めM.9台による高密植わい化栽培に転換している。前段にもあるようにNZは量産型であり、「質より量」を狙った理念で生産している。園地を見渡す限り、50〜56玉を中心とした果実生産が何え、摘果については本県の一つ成り摘果とは異なる二つ成り摘果を目安としていた。反収は驚異の15 tとしており、本県が取り組む高密植わい化栽培の2倍以上である。見ると高樹齢の一般的なわい化樹では、リンゴが鈴成りになっていた。

現在、本県においても高密植わ

い化栽培への取組が徐々に見え始めてきているものの、当社の高密植わい化樹は、どうやら見た目が違う。大きな違いとしてY字樹形が挙げられ、1本主枝樹形と比べて花芽が形成されやすいことが挙げられる。本県同様に樹体管理については灌水設備が用いられ、各エリアマネージャーが土壌水分量等をチェックして樹体コントロールを図っていた。

薬剤散布については、2,000ℓの牽引型スピードスプレーヤが用いられ、散布回数は本県と同様に年間13回ほどであった。防除に

については害虫がメインであり、病害については主に黒星病が挙げられた。園地では大型の農業用機械を目にすることが多く、省力化を兼ねて機械化を図れるように列間が広くとられていた。無数に並ぶリンゴ園の中には収穫ビンが置かれ、園地の中をフォークリフトが移動して次々にトラックへと積み込まれるそうだ。

労働力確保については、世界各国の陽気な外国人労働者が集まる。本県の労働力不足とは対照的に人手には困らないし、人件費も心配にならないと話す。園地内に

Freshco社

●冷蔵及び選果施設

・従業員数：約100人

※繁忙期は約300人
(園地での臨時雇用含む)



冷蔵施設



リンゴが超大型トラックで輸送される



トラックの入場ゲートで品質をチェックしてから冷蔵施設へ搬入される



ゲートでは収穫ピンごとにヨード反応指数や硬度をチェックし、事前に輸出向け等を区分する。



現地で使用されている収穫カゴ

は、外国人労働者向けの住居も完備しており、賃金は驚きの時給2,200円。また、作業に携わる労働者については歩合制で都度ボーナスを出しており、これがみなぎるマンパワーに繋がっているという。リンゴの生産量に応じて働く人も多い光景は、羨ましい限りであった。

園地では、ソニアやブリーズなどの晩生種をはじめ、収穫を目前に控える「ふじ」が着色していた(収穫時期：3月下旬頃から)。着色優良系統品種が多く、樹幹内部であっても容易に着色している様



収穫ピン (400kg/1箱)

子が伺えた。着色管理については簡易的に葉摘みが実施されていたほか、品質が悪い果実については樹上選果が行われていた。樹上選果で地面に落とされたリンゴは黒星病等の観点から、後日、耕運機(トラクター)で土に鋤込み、耕種的防除にも取り組んでいるとのこと。収穫にあたっては、エリアマネージャーが熟度調査を実施して適期収穫に努めており、着色度合いや糖度のほか、特にヨード・水分を重視したチェックを行っているそう。NZはグローバルGAPの取得が当たり前となっており、

各生産者及び団体が違和感なく取り組んでいるとのこと。作業する全ての人が日々の業務内容を報告し、トレーサビリティのチェック体制が素晴らしかった。出荷の際は、生産についての情報がバーコードで読み取れるようになっており、消費者自身が確認できる仕組みが確立されていた。

■パッキングセンター視察

パッキングセンターには、1日に40tトラック15台がリンゴを搬入。トラック専用の入場ゲートがあり、選果前の段階で事前に品質をチェックしていた。ここでは収穫時と入庫時のヨード反応指数及び硬度の差をチェックし、輸出に向くとされる独自の指標を基に何度もチェックを重ねる。ヨード及び硬度が輸出に向いていると判断

されたビンについてはビンに直接用紙が貼られ、この時点で1MC P処理する冷蔵庫へと振り分けされていた。

選果にあたっては、1日に800ビン処理(400kg/1箱)。日本の18kgコンテナで換算すると16,000箱分で製品化率は約80%。輸出される海上コンテナ数は1日に約10コンテナ、1週間で50〜60コンテナに相当するという。選果員は常時100人ほどを雇用しており、繁忙期は更に200人雇用することだった。

選果機については、冷蔵施設から出庫されたリンゴが、オゾン水が流れる洗浄槽に入れられ、高い殺菌効果を有して箱詰めラインに向かっていた。選果機にはAI知能を持つセンサーカメラが搭載さ

れており、品質を精密にチェックしていた。内部センサーは付いておらず、果実は外観からの判断とし、1分間に約2,800個を判別(最大3,500個)。箱詰め作業

については、非常にコンパクトな自動箱詰め機も導入されており、本県同様最終チェックは人の目で確認し、安心安全な出荷に努めていた。また、主にダンボールの梱包が目に入ったが、欧州向けについてはプラスチックの専用コンテナに自動で納められていた。この機械については、押し傷軽減機能を備える布製でできた回転式プロペラが付いており、無人であった。輸出先のドイツには選果場もあり、この専用コンテナで出荷された後、現地で再選果されて消費者のもとへ販売されるとのこと。

市場動向調査

NZを代表するスーパーマーケットチェーン COUNT DOWN 及び PAK'nSAVE 等を視察。リンゴは基本的に量り売りで、売り場には計量機が設置されていた。また、袋詰めは1.5kg詰め、平置き

タイプとなっていた。店内にはガラヤースイートクインなどが陳列され、平均で\$5.99/kgで販売され、セール品については\$3.99前後となっていた(当時1\$=約91円)。

メロンやバナナ、イチゴなど様々な果物が販売されている中で、リンゴについては一番広く棚が確保されていた。視察中も多くのお客さんがリンゴを手に取り、リンゴ消費量の高さが伺えた。NZにおける一人あたりの年間平均消費量は11.5kgとされ、日本の約2倍となっている。



選果システムの概略を示した図



AI知能を搭載したセンサーカメラによって選果される



出荷前の製品貯蔵施設

Freshco社

1日に収穫コンテナで800箱を選果。青森で使用されている18kgコンテナ16000箱分に相当し、製品化率は80%。選果場では約100人が働いていた。



コンテナを反転し、果実を洗浄層へ入れる

パッキングセンター (選果場)



洗浄槽に浮かぶりんご



1秒間に2,800個を判別し、規格外品等がはじかれる



コンパクトな自動りんご箱詰め機



日本同様に最終チェックは人が行う



欧州向けは自動で専用コンテナに収められる



大型スーパーマーケット「PAK'nSAVE」

生食は基より、現地ではりんごが料理に使われることが多いらしく、甘味よりも酸味のあるりんごが好まれるとのこと。

- ◆
- ◆
- ◆

世界的な視野から見ると、日本は諸外国とは対照的に唯一、高品質安定生産に取り組んでいると云っても過言ではない。無論、世界から称賛される日本のりんごは最高品質であり、これが1個あたりの高値を生み出し、消費者を虜にしている。今回の視察を振り返つ



店頭でガラやスイートクイーンなどが並ぶ

てみると、日照時間や平坦地の栽培及び立地条件などの観点から、反収では到底力が及ばないと感じたのも事実。しかしながら、日本の完璧なりんごは世界各国の富裕層向けに販売できるビジネスチャンスの方が多くあり、青森県産りんごの高値販売の強みとして高品質安定生産が非常に重要であることを再認識することが出来た。

当JAとしては今後も組合員の皆様に最新の情報を発信し、飛馬ブランドの更なる飛躍に努めて参ります。

新採用職員紹介

4月から農協職員に仲間入りした5名を紹介します♪



清野 晴菜



- ① 金融共済課
- ② 弘前市岩木
- ③ アニメを見ること
- ④ 活発的でした!!
- ⑤ 一生懸命にやって、はやく仕事に慣れる!

- ① 配属先
- ② 出身
- ③ 趣味・特技
- ④ 小さい頃はどんな子でしたか?
- ⑤ 仕事に対する抱負

これからよろしくお願ひします。



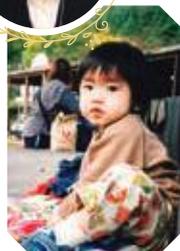
詩苗 隆



- ① 農業振興課
- ② 弘前市
- ③ スポーツ観戦・野球
- ④ 静かで、素直な子
- ⑤ 沢山のことを経験し、早く一人前になれるように頑張ります。



三上 詩織



- ① 金融共済課
- ② 弘前市新町
- ③ 音楽鑑賞
- ④ とにかくおとなしい子供でした!
- ⑤ 一日も早く仕事に慣れて活躍できるよう日々精進いたします!!



渡辺 恵美



- ① 直売所
- ② 弘前市
- ③ 散歩・ねぶた
- ④ おとなしく、人見知り
- ⑤ 笑顔でお客様をお迎えし、お見送りしたいと思います。



工藤 涼大



- ① 農業振興課
- ② 弘前市樹木
- ③ アニメ鑑賞・ラジオ聴くこと
パソコンの早打ち
- ④ わがままで短気(?)だった子
- ⑤ 早く仕事に慣れるように精いっぱい頑張りたいです!



○りんごの生育前進、春作業は計画的に進めましょう

今冬の管内平均積雪量は平年よりも非常に少なく、最も多かった3月上旬は54cmでした。気温については12月から2月まで平年よりも高い気温で推移したものの、2月下旬以降の気象は不安定となり、積雪が0だった一部園地では再び雪が積もるなどし、凍害の影響が心配されます。

当JA管内における「ふじ」の発芽日は、早い地点で昨年よりも12日程遅い4月5日となりました。1回目の葉剤散布は4月20日前後からと見込まれ、気温が高く推移した場合や、降雨がある場合は更に早まることが予想されます(4/8現在)。開花については、今後の気温が予報通りに推移した場合、黒石のりんご研究所で5月1日頃と予想されています(ふじ)。

○凍害害に注意！
花芽の耐凍性は生育の進みとともに低下し、霜害を受ける危険性があります。降霜は一般的に晴天

無風で、午後7時の気温が6度以下の日翌朝に発生する危険性が高いことから、気象情報等に十分注意して下さい。尚、防霜ファンを設置している園地では機器の始動点検を行い、稼働状況を確認して下さい。また、防霜ファンを設置していない園地では霜害防止対策資材の準備を行い、被害の軽減に努めて下さい。

○結実量確保に向けて

近年、開花期間中の低温や強風等の影響により、カラマツが発生しています。また、本年は一部で弱小芽や花芽不足が見えるため、積極的に人手授粉を行います(花粉の交雑和合性や発芽率は要確認)。

○農薬散布にあたっての注意事項

- 散布は降雨前に実施
- 散布間隔は10日以内を守る (6月中旬まで…黒星病重点防除時期)
- 適期・適量散布を徹底する
- 農作業事故には十分注意する

●りんご病害虫防除暦 (第1回目～第5回目)

散布計画	散布量	散布時期	基準薬剤	希釈倍数	備考
1	300㍓	展葉 1週間後頃	ベフラン (液) バリアード (顆水) ハーベストオイル	1,000倍 4,000倍 200倍	●混用順序 ①水→②ハーベストオイル→③バリアード (顆水) → ④ベフラン (液)
2	320㍓	開花直前	カナメ (F) 又はパレード15 (F) アタブロンSC	4,000倍 2,000倍 4,000倍	●昨年、褐斑病が多発した園地ではパレード15 (F) を 選択する。
3	350㍓	落花直後	ミギワ20 (F) ジマンダイセン (水) アタブロンSC 果面保護剤	4,000倍 600倍 4,000倍	●リンゴハダニの発生が見られる場合は、バロック (F) を加用する。
5月中旬 コンフューザーRの設置					●コンフューザーRを 5月下旬までに設置 し、ハマキムシ類及びシンクイムシ類における次世代の密度低下に努める。
4	350㍓	落花10日後	デラン (F) エルサン (水) 果面保護剤	1,500倍 1,000倍	●デラン (F) とユニックス (顆水) の混用は避ける。
5	420㍓	落花20日後	ジマンダイセン (水) サイアノックス (水) 果面保護剤	600倍 1,000倍	

※赤字表記は本年の防除暦に新しく採用された薬剤。

果実販売動向

販売課 田村 慎平



平素からJA相馬村フルーツデーションをご利用いただき誠にありがとうございます。

3月の果実販売動向ですが、イチゴについては月の初めは産地の天候不順などにより流通量が減少していましたが、月の後半にかけて3番果が本格化したこともあり流通量は回復していきました。ひなまつり需要や企画が多く組まれていたことから引き合いは月を通して強く、月の後半は若干下げ基調の展開とはなったものの、全体を通しては概ね高値基調で価格は推移しました。

中・晩柑類については各品種とも入荷量が少ない状況が続く中、気温の上昇により品質低下が増加し、これまでの売価高もあいまって鈍い荷動きとなりました。価格については堅調を維持しているものの、売場は広がらず、このまま終盤を迎えていくものと思われる。リンゴについてはサンふじの上位等級品が流通量の少なさをから

き合いが強く、高値基調の販売となりました。反面下位等級品については上位等級品との価格差により一定の引き合いはあるものの、消費地の気温上昇に伴う品質懸念も徐々に高まっており、厳しい販売となりました。ただし比較的売価の安い小玉果の袋詰め製品の注文が増えており、例年以上の出荷となっております。

王林・シナノゴールドに関しては「スマートフレッシュもの」の出荷が始まりましたが流通量は少なく、堅調な販売となりました。サンジョナゴールドに関しては

3月に選果が本格化していきましたが、本年度産は軟質果の割合の高さが例年より懸念されるため、前進出荷を心掛けております。

輸出に関しては台湾向けの王林が終了しましたが、品薄に加え上位等級品の比率の低さから出荷量は例年を下回りました。続いて香港向けに王林やサンふじの輸出が始まっていますが、こちらも出荷

量は減少する見込みです。

今後イチゴは3月からの売場の拡大が4月中も続く見通しですが、多品種と比べ比較の入荷が安定していることや品質低下の懸念もあり、値ごろ感のある販売が予想されます。

中・晩柑類については引き続き入荷量は少ない状況が続くものの、競合品種が少なくこともあり一定の売場は確保される見込みです。ただしいちご同様品質低下が懸念されるため、荷動きは緩慢なことが予想されます。

リンゴについてはサンふじ・王林・サンジョナ・シナノゴールドがスマートフレッシュものに完全に切り替わり、価格がさらに引きあがることから荷動きは堅実なものが予想されます。一方仲卸ではサンふじの販売期間を引き延ばしたいといった声も聞かれており、サンふじに対する引き合いは続いていくものと思われる。今後は有袋ふじ、有袋ジョナ等の最終盤の品種の選果作業が始まっていきますが、引き続き品質低下に注視しつつ有利販売を目指してまいります。

全農あおもりデータ (3/29 累計)

品 種	サンふじ	ふ じ	王 林	シナノゴールド	ジョナ	その他	合 計
単 価 (円)	3,849	6,658	4,057	4,366	4,909	4,324	3,821
前 年 比 (%)	147	164	126	150	139	146	143
販売数量 (箱)	3,149,383	4,830	415,419	49,272	232,254	2,067,037	5,918,195
前 年 比 (%)	77	269	77	114	65	70	74

直売所「林檎の森」

リーダー 児玉広樹



いつも直売所「林檎の森」をご利用いただきありがとうございます。今年は雪解けも早くすっきり春らしい気候となり、店内も賑わいを見せてきました。

先月17日～20日の4日間開催致した「林檎の森」感謝祭ですが、例年の卵・牛乳先着プレゼントに加え、今年は新たに「一部商品の5%OFF」と野菜の100円コーナーの設置、ソフト・シエークをお買い上げの方にパックご飯のプレゼントを実施いたしました。100円コーナーは初日からたくさんのお客様で混雑してしまいました。5%OFFもあつてかその他の野菜もよく売れていて、春彼岸とも重なっていた為、花や団子もほぼ完売するなど大変賑わいを見せていました。

また、今年もマイタケ菌床を3月25日から販売致しましたが、年々リピーターの方が増え、予約分だけで半分以上が売れてしまう盛況ぶりでした。

現在店内には行者ニンニクやきのこなどの山菜、ほうれん草や春菊などの地場野菜も並び始めました。その他の山菜・地場野菜もこれから徐々に増えてくると思うので、新鮮で安価なものを求めの際はぜひお立ち寄りください。そして4月27日～5月6日の間は、毎年恒例の「花と緑の市」を開催致します。ナスやキュウリ、トマトなどの野菜苗から、スイカ、メロンなどの果物苗、マリーゴールドやペチュニア花など多種多様な商品を取り揃えますので、この機会にガーデニングや家庭菜園を始めてみてはいかがでしょうか。最後に4月1日の人事異動によりスタッフの異動がありました。まだ不慣れな点もあり、ご迷惑をお掛けすることもありますが、スタッフ一同協力して頑張っておりますので温かい目で見守って頂けたら幸いです。

今後またたくさんのお客様のご来店を心よりお待ちしております。

いきいき女性部通信

事務局 石田有希子



女性部では3月22日、午前中に長慶園でQOL健診、午後には中央公民館研修室及び和室で日本原燃講師によるフルーツサンド作りを実施し、部員16名が参加しました。

QOL健診では、身長体重、血圧などよくある検査から、唾液検査による歯周病チェック、骨密度測定、内臓脂肪測定まで調べることができるとともに、体力を調べる検査も3種類ほどあり、現在の健康状態を調べられる内容でした！毎年検査することで、前年と比較

最高♪
また春先からの活動が楽しみです。

ができるので、また来年も実施して健康を保ちたいですね。

フルーツサンド作りは、時間が短い中でしたがさすが女性部！手際よく作業が進んでいました。挟んで切るだけで簡単なように入れますが、果物の配置や包丁を入れる場所によって仕上がりが決まるので、意外と難しい！しかし、フルーツサンドは美味しくて

です。



健診後は中路重之先生の健康講座



迅速かつ和やかに進むフルーツサンド作り



クリーム2種の幸せなおいしさ♪

地域おこし協力隊 活動記 Vol.98



まだポツポツとだが、咲き始めたフクジュソウ

ついでこの間まで雪に覆われていた自宅裏の斜面に、フクジュソウが咲き始めました。代表的なスプリング・エフェメラルであるフクジュソウは、旧相馬村の村花で、いまでも春の訪れを告げる相馬の代表的な花です。

こんにちは、加賀新一郎隊員です。年齢を重ねたせいかもしれません、季節の移ろいが早くなったように感じています。待ちわびた春を象徴する黄色いフクジュソウから、すぐに薄いピンク色のりんごの花へと主役が代わり、初夏になっていくのでしょうか。相馬の子どもたちには、短い春休み中に相馬の春を存分に楽しんでほしいものです。

春休みといえば、突入2日目の3月26日に穂坂隊員が「棒パン体験イベント」を実施。詳細は穂坂隊員の回に譲りますが、

会場の相馬ふれあい館に6名の子どもたちが来てくれて、棒パンづくりを楽しんでもらいました。当日は、



裏打ちには相馬の和紙を使用

空き時間を利用して子どもたちにもつひとつ参加してもらったのが、「相馬郷土かるた」の製作です。製作といっても、紙漉き隊に漉いてもらった和紙に札を貼ってもらっただけの簡単な作業なのですが、なかには絵札を見て「ここどこ?」と興味を示す子もいて、所期の目標はまずひとつ達成した気がしました。「相馬郷土かるた」は、相馬の名所や史跡、名物などを地域内外の人々に知ってもらおうと作ったもので、市の地域資源活用事業とのコラボで紙漉きに伝わる紙漉き技術による和紙を使用しています。正直にいうと、発端は弘前大学の柴田彩子先生のアドバイス。「凸凹新聞」等で相馬の歴史を

取り合上げているのを見て、「かるたを作ってみたら」と助言してくださいました。子どもたちの協力で完成したかるたは、2セット。当面は希望者に無



収納用の箱にも、紙漉き隊に漉いていただいた和紙を使用している

料で貸し出したいと考えていますので、遊んでみたい方は協力隊までご連絡ください。

3月中旬に行われた「高齢者教室」では、拡大版を使用してかるた遊びを実施したところ、大盛り上がりだったそうです。「買いたい」と言ってくれたさるお年寄りもいたそうですが、今のところ販売できる量産体制が整っていませんので、しばらくは貸し出しのみとなります。個人でも団体でもかまいませんので、ぜひ一度「相馬郷土かるた」で遊んでみてください。いつか、かるた大会のようなものもやれればいいですね。



JA 相馬村概況

〈令和6年3月末日現在〉

組合員数…………… 852人
 (うち准組合員数 …… 388人)
 出資金……………604,235千円
 貯金額……………9,978,628千円
 共済保有高……………2,989,962万円

理事会だより

3月21日(木)

- 1) 2月末残高試算表について
- 2) 組合員の名義変更及び脱退について
- 3) 「JAバンクの内部管理態勢構築にかかる指針」の一部改正について
- 4) ローン融資要項およびローン商品概要説明書の一部変更について
- 5) 貯金規定等の一部改正について
- 6) 購買業務規程の変更について
- 7) りんご販売関係について
- 8) 固定資産の取得について

編集部のつばやき(編集後記)

先週号で意気込みを語った矢先に、4月から直売所『林檎の森』へ異動となりました。2年間という長いようで短い時間でしたが、私のつたない文章を毎月読んでいただけたこと、深く感謝しております。また、取材のときに組合員の皆様と対話ができたこと、とても勉強になるとともに、楽しい時間でした。今後、新しい担当者が伺った際にも何卒よろしくお願致します。本当にありがとうございました。

yuki

4月から広報担当になりました、成田淳子です。職員歴は長いですが、広報は初めてなのでドキドキです。取材に向った際はカメラ目線と、とびきりのスマイル(笑)☆でお願致します。

さて、10ページで紹介しましたが、5名の新採用職員が農協に仲間入りしました。直売所配属の渡辺さんは接客業が長いとのこと、即戦力です。また立ち姿が美しい！金融経済課の清野さんはおっとりした性格にみえますが、愛用マグカップのクセが強い！三上さんはいつも笑顔でケタケタとよく笑い、事務所を明るくしてくれています。

農業振興課の工藤くんはパソコンが得意、つい頼ってしまいます。ちなみにトムとジェリーが大好きとのこと。時苗くんは一卵性の双子で、小さい頃の写真を見ても区別できないそうです。将来は美家の農家を継ぐという夢を持っています！すばらしい！！

彼らを見ていて二十年前の緊張していた頃を思い出します。追い越されないようにがんばらなくっちゃ。こんな感じではないかしら…また来月号でお会いしましょう♡♡♡

今月のあなたの運勢・5月 (モナ・カサンドラ)

◆ 全体運 ● 健康運 ★ 幸運の食べ物

牡羊座 3/21~4/19 ♈★

◆ あれもこれもと気がせきがち。行動力に恵まれています。クオリティーを保てる範囲に絞って

- 筋力アップのチャンス！頭痛、歯痛は早めに対処

★ シイタケ

牡牛座 4/20~5/20 ♉♋

◆ 非常に勢いがあります。無理が通るときなので、よく考えて行動を。周りへの配慮が幸運を招きます。外食が吉

- 音楽鑑賞でリラックス。ハーブティーもお薦め

★ 新ゴボウ

双子座 5/21~6/21 ♊♌

◆ 観劇やコンサートを楽しめます。友人と出かければ会話も盛り上がり、仲も深まりそう。仕事は下旬から効率アップ

- 友人と一緒に話題の健康法を試してみ

★ カブ

蟹座 6/22~7/22 ♋♎

◆ ちよつとした発見がうれしい月。趣味や友人との時間を増やして。豊かな時間を過ごせます。技能習得の勉強が吉

- 頑張り過ぎはけがのもと。休憩を入れてリフレッシュ

★ キクラゲ

獅子座 7/23~8/22 ♌♍

◆ やりがいは感じられるものとても忙しそう。スケジュールを調整し仕事と遊びのバランスを取ると爽やかな月

- スポーツを楽しんで。ハードなトレーニングもOK

★ サンショウ

乙女座 8/23~9/22 ♎♏

◆ 視野が開け、困り事は解決へと向かいます。人の意見を取り入れて。違う発想で動けば良い展開が待っているはず

- 睡眠はしっかり取って。ホルモンバランスに留意

★ クレソン

天秤座 9/23~10/23 ♎♐

◆ 周囲からの視線が気になりそう。八方丸くは取まらないので妥協点を見いだして。1人で背負い込み過ぎないように

- 適度な運動とバランスの良い食事が味方

★ ゼンマイ

蠍座 10/24~11/22 ♏♑

◆ 注目されて大変そうですがメリットもあります。やりたいことをアピールして。力を貸してくれる人が現れるはず

- 発酵食品を取るよう心がけて。デトックスも◎

★ ナガイモ

射手座 11/23~12/21 ♐♑

◆ 整理整頓を心がけて。掃除に力を入れると人間関係も整ってきます。去る者は追わないことも大切。連絡は早めに

- ランニングなど有酸素運動で心肺機能を高める

★ ニンニク

山羊座 12/22~1/19 ♑♒

◆ 難しい問題はあるものの一つ一つ解決していくことで達成感を得られます。追い風が吹くときなので諦めないで

- バランス運動を取り入れて。転倒やけがを予防

★ ニラ

水瓶座 1/20~2/18 ♒♓

◆ 運気は次第に勢いを取り戻します。状況が変わってくるのを待つのも良い方法。頭の中を整理してみよう

- 散歩やハイキング、景色を楽しむながら体を動かして

★ コゴシ

魚座 2/19~3/20 ♓♈

◆ 高め安定運へと移行します。やるべきことがはっきりしてきて動きやすくなります。目標を決め優先順位を付けて

- 食事はよくかんで。肥満や虫歯予防の効果も

★ ルッコラ



今後もお元気でお過ごしください！ ありがとうございました。

お世話になりました

3月14日、大場勉組合長、田澤俊則元非常勤理事、柴田多賀子課長補佐は、青森市造道にあるホームへ、感謝状と花束を持って訪問した。

お渡しした相手は秋田義信先生。先月号で、当広報誌への執筆は最後となったが、この日ホームへ伺うと、ハキハキした声で受け答えしていた。

毎月の原稿からもわかるように、ユーモアがたつぷりのお人柄であった。

永きにわたり連載していただきありがとうございました。今後のご活躍も期待しております。



JA相馬村広報

りんごの森

2024.4 Vol.501

■ 発行者 相馬村農業協同組合
〒036-1593 青森県弘前市大字五所字野沢23-1
TEL.0172-84-3215 FAX.0172-84-3497

■ 編集 総務課広報
ホームページURL <http://www.ja-souma.or.jp/>
e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp

■ 発行日 2024年4月15日

本所	0172-84-3215(代)
本所フルーツステーション	0172-84-3293(代)
本所フルーツステーション特産販売	0172-84-3218(代)
J A 共済事故受付センター	0120-258931
湯口支所・機械化センター	0172-84-2470(代)
湯口セルフスタンド	0172-84-2550(代)
直売所「林檎の森」	0172-84-3411(代)
津軽LPガス保安センター	0172-36-0404(代)
ライスセンター	0172-84-2217(代)
りんご加工センターA棟	0172-84-3380(代)
相馬支所・フルーツステーション	0172-84-2534(代)
J A 津軽葬祭センター	0120-7676-60